

教科目標

言語聴覚士科

養成目的

本校では、多様な地域社会の中で活躍できる場を自ら開拓し、地域の活性化に貢献していくために、専門的知識や技術の習得を目指すだけでなく、自ら考えて行動する力や協調性のある社会人としての態度、人を尊重する豊かな人間性を身につけた言語聴覚士の養成を目的としています。

言語聴覚士は、医療・保健・福祉・教育の様々な分野でことばやきこえ、のみこみなどに対して改善や促進に努め、より円滑なコミュニケーションの実現に向けたサポートを行います。その関わりは乳児から高齢者までの多世代にわたり、本人だけでなく家族や関連職種、地域などに及ぶため、様々な相手との高いコミュニケーション力が求められます。

教育目標

地域社会の中で信頼を得ながら協働できる社会人基礎力と、多様な社会性を理解し、相手の立場を尊重しながら対人援助を行える人間性、及び地域の発展に参画し、貢献することで自己実現しようとする主体性を備えた言語聴覚士になるために、実践的な体験型のカリキュラムや多世代交流プログラム、学内外での実習経験などを通して、自ら考え行動する力、多職種との連携、多様なコミュニケーション力を身につけます。そして卒業時に国家資格を取得し、言語聴覚士として就職することで地域社会に貢献する人材を育てます。

取得目標資格

言語聴覚士（国家資格）

就職分野

1. 病院（急性期・回復期・維持期など）、診療所、リハビリテーションセンター
2. 介護老人保健施設
3. 特別養護老人ホーム
4. 訪問看護ステーション
5. 通所リハビリテーション
6. 療育施設
7. 肢体不自由児施設、難聴幼児通園施設、知的障害児通園施設
8. その他

職種

言語聴覚士（ST：Speech-Language-Hearing Therapist）

学年・学期到達目標

- 1 年次：自分と他者の良い関係性構築と社会人基礎力の重要性に気づくことができる。
 専門基礎知識の学習と見学で職業の具体像を知り、興味を深めることができる。
- 前期：生活習慣と学習習慣を確立でき、専門基礎知識の定着ができる。
 後期：現場体験型学習を通して職業への興味を深めることができる。
- 2 年次：課題解決の過程を経験することで自己の肯定感と目標達成への意欲を持てる。
 前期：学内実習で臨床に必要な身構え・気構え・心構えを身につけることができる。
 後期：学外実習でコミュニケーション力と専門知識・技術を身につけることができる。
- 3 年次：求められる職業人像に向けて自ら行動を計画し実行することができるようになる。
 前期：臨床の 1 年目に必要とされる基本的な能力と基本姿勢を身につけることができる。
 後期：臨床にむけた知識の整理ができ、国家試験に合格することができる。

キャリア教育マップ

対象分類				コンセプト：職業人としての「身構え・気構え・心構え」の育成																					卒業後 キャリア教育 の機会							
				在学中キャリア教育の機会 (教育行事・科目)																		卒業後 キャリア教育 の機会										
マネジメント分類	社会人基礎力 3つの能力	JESCCキャリア教育 委員会推進 「キャリア教育の 主要能力項目」	入学前 キャリア 教育 の機会	学生生活																				卒業後 キャリア教育 の機会								
			入学前 キャリア教育 の機会	学生生活	1年	2年	3年	卒業後 キャリア教育 の機会																								
「自分」	セルフマネジメント	前に踏み出す力 (アクション)	主体性*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	卒業後 キャリア教育 の機会		
			働きかけ力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	卒業後 キャリア教育 の機会
			実行力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	卒業後 キャリア教育 の機会
	考え抜く力 (シンキング)	課題発見力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	卒業後 キャリア教育 の機会	
		計画力**	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	卒業後 キャリア教育 の機会	
		創造力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	卒業後 キャリア教育 の機会	
「他者・チームとの協働」	チームマネジメント (チームワーク力)	傾聴力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	卒業後 キャリア教育 の機会		
		発信力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	卒業後 キャリア教育 の機会	
		チームワーク力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	卒業後 キャリア教育 の機会	

主体性*：「Hand-book of Life Style」から第3の原則「自分でやろう」に該当する
 計画力**：「Hand-book of Life Style」から第1の原則「目的をもってやろう」第2の原則「大事なことからやろう」に該当する